

週刊

明るい小矢部

赤旗 読者通信 改題

2020.1.26
通巻No.1453

日本共産党
小矢部市委員会

市内七社 245
Tel 67-4322
Fax 67-4842

何でも
ご相談を



市議会議員
砂田喜昭
Tel 67-4322



衆議院議員
藤野保史

参議院議員
たけだ良介

参議院議員
井上哲士

衆議院議員
笠井あきら

禁断転載
複写配布

境川ダムの未利用水問題とは



週刊明るい小矢部『2019年12月29日号で報じた境川ダムの未利用水問題』について「どんなことなのか」との疑問が寄せられました。そこで砂田市議に聞きました。

【編集部】 境川ダムはどこにあり、どんなダムですか。

【砂田市議】 南砺市上平地区と岐阜県白川村の間につくられた重力式コンクリートダムです。水源は庄川の上流に注いでいる境川で、堤高115メートル、総貯水量5990万トン(有効貯水量5610万トン)です。県内で最大の多目的ダムです(左写真と左下比較表)。総事業費は385億円です。

水道用水に使われてもいないのに費用負担が発生

【編集部】 ダムの目的は何ですか。また、その費用負担割合はどうなっていますか。

【砂田市議】 河川、かんがい、水道用水、工業用水、発電(関西電力)、消流雪用水を目的につくられました。その費用負担割合は費用負担割合表の通りです。問題は水道用水に関して境川ダムで19万トンも増やしていることです。子撫川ダムからの水道用水6万トンでさえ使い切れず、余っているのに、境川ダムをつくったことが大問題でした。子撫川ダムをつくるべきの小矢部市の水需要を日量2万5千トンと見込んでいましたが、現在実際には日量5297トンです。

	完成年	堤高 m	総貯水量 千トン	総事業費	上水道 供給量 日量
境川ダム	1993	115	59,900	385億円	19万トン
子撫川ダム	1975	45	6,600	60億円	6万トン
利賀ダム	未定	110	31,100		
宇奈月ダム	2000	97	24,700		

比較表

区分	河川	かんがい	水道用水	工業用水	発電	消流雪 用水
負担率	16.7%	26.3%	21.9%	31.0%	4.0%	0.1%
金額 億円	64.3	101.3	84.3	119.4	15.4	0.4

費用負担割合表

県下最大の多目的ダム



関西電力が発電にも利用負担割合はわずか4%

【編集部】 境川ダムで発電もしているのですね。

【砂田市議】 関西電力の境川発電所があります。関西電力のダム建設費負担がわずか4%です(費用負担割合表参照)。

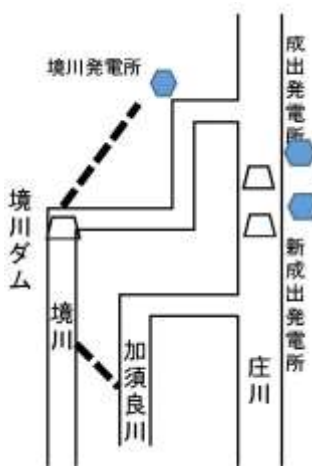
関西電力は境川ダムから水を引いて境川発電所で最大出力2万4200キロワットの発電をしています。年間発電量は7300万キロワット時です。境川発電所は関西電力にとって魅力的な発電所らしく、庄川の支流にあたる加須良川から境川ダムまで全長1.2キロメートルの導水管を掘って水を増やし、境川発電所で年間2300万キロワット

時の発電量を増加させます(導水管工事は2019年12月完成)。加須良川下流には既存の関西電力成発電所、新成発電所がありますが、このために水量が減少し既存発電所では600万キロワット時減りますが、差引1700万キロワット時増えるそうです。水路を変えることで発電所での落差が4倍になり、発電量が増えるのです(ダム配置図参照)。

時代の变化に対応して用水の配分見直しを

【編集部】 境川ダムの水道用水の未利用水量11.5万トンについて、使ってもいないのに水道料金に上乗せして負担させられているのは納得できませんね。

【砂田市議】 確かに不合理です。県や市部水道用水供給事業から水を受けている関係4市で協議して解決を図る必要があります。最近の豪雨災害の多発や、これからの人口減少社会という時代と社会の変化に対応して、ダムの洪水調節機能を拡充するなど、用水の配分を見直す新しい取り組みがどうしても必要です。12月議会でもこの問題を取り上げましたが、共産党としては国・県との交渉のなかでも取り上げていきます。



ダム配置図